

育星会・天満カセイ薬局

大上 直人さん

「薬学的知識はもちろん、コミュニケーション能力も、これから求められる要素です」と語る大上直人さん。2008年3月に近畿大学を卒業と同時に育星会に入社。現在、北野病院（大阪市北区）の門前に位置する天満カセイ薬局で薬局長を任されている。入社3年目ながら、大型門前特有の多種多様な患者、処方箋への対応のほか、薬剤師・スタッフの意見を取り入れ職場環境改善を進めるなど、トータルマネジメントを担っている。

職場環境改善も責務

育星会は、大阪を中心に32店舗の調剤薬局を展開。広域医療機関から診療所までの幅広い医療機関から処方箋を応需し、90年代からは在宅医療にも注力している。

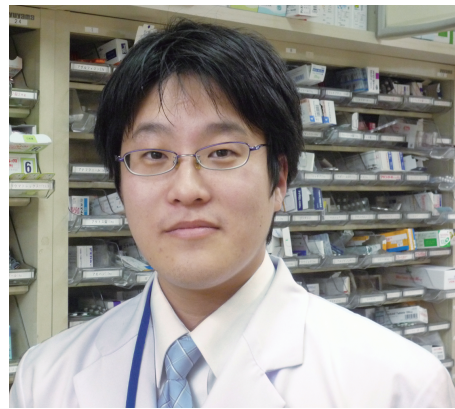
「保険薬局は様々な医療機関からの処方箋を持って来られる個々の患者さんに対応しなければなりません。最終目標は、患者さん自身が薬を理解して服用する支援を行うこと

「疾患の治療」を最終目標に

で、疾患の治療につながるということです」と大上さん。例えば患者側から、錠剤を服用しにくいとの訴えがあった場合、処方通りに調剤するのではなく、散剤や他の剤形への変更を医師へ提案できなければ、患者は自宅で服用しない可能性もあるためだ。

「薬局業務は対人業務も大きなウエートを占めるだけにコミュニケーション能力は必要です」と大上さん。「患者さんの中には病院が変わった後も、『ここで話を聞きたいから』と、遠くからわざわざ来られる方もいます。そういうときは薬剤師としてのやりがいを感じますね」とも話す。

保険薬局薬剤師による地域医療への参画をめぐっては、「在宅医療の現場への往診に同行するケースもあり、薬学的知識を発揮し、医師に対し処方設計の提案まで行える薬剤師が求められるようになるでしょう」と、在宅現場における薬剤師の将来的な位置づけに期待が寄せられているという。



大上さんの入社動機の1つに『先輩からのアドバイス』があった。育星会で勤務している先輩から会社の話を聞き、「広域医療機関から診療所まで、様々な処方せんを取り扱っている点。在宅医療に熱心に取り組んでいるという部分に興味を感じた」という。

一方、薬学生向け「できるだけ多くの会社を見て、実際に現場で働いている人たちの声を聞いてもらいたい」と自身の体験を重ねアドバイスする。

大上さんは、「大学で学ぶ知識は将来、保険薬局で働く際に、無駄になることは1つもありません。しっかりと勉強してください」とエールを送る。

薬樹・みどり薬局町田

野口 幸司さん

薬樹（神奈川県大和市）の「みどり薬局町田」に勤務する野口幸司さんは、入社2年目の薬剤師。現在の店舗では、既に管理薬剤師を任されている実力派。社内企画にも携わるなど、着実にキャリアを積んでいる。野口さんに、薬局勤務を選んだ理由や仕事を通して感じること、将来の夢、後輩へのメッセージなどをうかがった。

信頼関係構築に喜び

野口さんは、東京薬科大学を2009年に卒業後、薬樹に就職し、今年9月にはストアマネジャーになった。隣接する耳鼻科クリニックの患者を中心に、多い日には120人以上が来局。4人の薬剤師の責任者として、調剤などもこなす多忙な日々を送る。

野口さんはもともと化学に興味があり、関連する仕事に就きたいと思っていたが、人と接するのも好きなことから、「両方に関われ

ることのできる調剤薬局を選んだ」と語る。薬樹を選んだのは、薬剤師業務のみならず、いろいろチャレンジできる社風に魅力を感じたからだという。

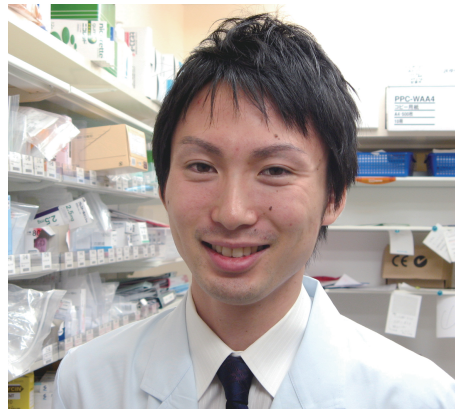
薬剤師業務の傍ら、社内企画に参加したり、採用活動の手伝いなどもしている。「本社と現場のスタッフが話す機会を作ったり、湿布の使用感を確かめ表にまとめ、業務に生かした」と語る。

仕事で一番の喜びを感じるのは、患者との信頼関係を築けた時だという。「今の店舗へ異動してすぐ、以前に勤務していた店舗の顧客が来てくれて、すごくうれしかった」と顔をほころばせる。

逆に難しい面としては、「扱うものが薬なので、健康面で問題があってははいけなし、間違いは許されないというプレッシャーがある」と真剣な表情。

将来に向けては、新人の育成や薬学生教育に関心があるという。「今まで先輩からいろ

切磋琢磨できる関係が理想



いろ教わり、育ててもらった。これから成長する人たちを支援できるようになりたい」と語る。野口さんは、以前勤務していた店舗で、実務実習生の指導も経験している。

学生へ向け、「一番大事なのは、患者さんを第一に考えること。お薬を渡すことが薬剤師の仕事ではありません」と釘を刺す。また、「いい意味で、私たちの刺激になってほしい。後輩の方がしっかりしていて、知識も多ければ、私たちにとっては大きな刺激となる。互いに切磋琢磨できる関係が理想。様々なことにチャレンジしてほしい」とエールを送る。



私たちと一緒に、
未来を描いてみませんか！

<http://www.mikiblog.com/tabeshinbun/><http://www.miki.ne.jp>

人と人のコミュニケーションを育みたい。
そしてそれが大きな幹（ミキ）から伸びる枝葉のように、
未来に向かって広がってほしい。それが私たちの希いです。

株式会社 メディカルファーマシー
人材開発部 saiyou@miki.ne.jp

本社：〒162-0056 東京都新宿区若松町9-12 KSビル 2F TEL 03-5368-2011
設立/昭和54年2月 資本金/5,000万円 売上高/114億円 従業員数/250名（薬剤師167名）